



丹後地域 リハビリ通信

第16号

～うさぎのブランコ～

編集／発行

丹後地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院リハビリテーション科内)
〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302
e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

ホームページよりPDF形式でご覧いただくことができます

こまっていることはありませんか？ 訪問相談を活用ください

地域リハビリテーション支援センターでは事業の一つとして従事者支援を目的とした、訪問相談を行っています。リハビリテーションに関する相談を受けつけ、地域リハセンの依頼を受けた理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が訪問による相談指導を行います。相談は無料です。



例えば…施設では

転倒前のように自力で歩行でき、身の回りのことができるようにするためにどのような運動がよいか。

理学療法士が訪問し、段階的な立ち上がり訓練や歩行器での歩行訓練の方法を指導しました。使用しているポータブルトイレの座面が低かったため、高さの調節を指導しました。

例えば…在宅では

胃ろう造設し退院したが、体調も安定し何か食べたいという訴えをされるようになった。現状の嚥下機能の評価をお願いしたい。

言語聴覚士が訪問し嚥下機能の評価をおこないました。家族、訪問看護師、訪問PTに対し、お楽しみレベルからゼリーの摂取を提案しました。2か月後フォローアップの訪問を実施。再度嚥下機能や本人の食べたい物の形態を評価し、トロミ付けや姿勢の指導をしました。

ベッドから車椅子移乗のための統一した介護方法をしたい。必要があれば福祉用具の見直しもしたい。

作業療法士が訪問し、家族やヘルパー、デイサービス職員、ショートステイ職員に対し跳ね上げ式車椅子を使用しての横移乗の方法を指導しました。この介助方法をすることによりタッチアップが不要となりました。下肢の可動域維持、筋力強化のための運動を指導しました。

相談はリハセンへの電話、FAX、メールにより受付ます。お気軽にご相談下さい。

平成26年度 第1回事例検討会開催の報告

「高次脳機能障害者の医療から地域への連携」

日時:平成26年6月13日(金)

講演「前頭葉機能障害について」

講師:伊藤 恵美 氏

作業療法士

名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻

公益財団法人 丹後中央病院 リハビリテーション科顧問

事例検討(グループワーク):「高次脳機能障害者の医療から地域への連携」



44 名の方に参加いただきました。グループワークでは事例に対して、どんな支援が必要か、就労移行の可能性について、事例が利用できる丹後地域の資源についてグループごとに検討しました。

平成26年度 第2回事例検討会開催の報告



講演と事例検討(グループワーク)

「本人の望む暮らしをかなえるために

～「生活を支える」が具現化するICFの使い方～」

日時:平成26年7月14日(月)

講師:松本 善則 氏

亀岡地域包括支援センター「あゆみ」センター長

36 名の方に参加いただきました。今回は事例検討の仕方そのものを見直すために、ICFの概念と使い方を講演とグループワークで学びました。

事後アンケートより 参加者の声

ICFは知っていても利用したことがなく勉強になりました。

(ケースの状態や今後のあり方を)言語化・文章化することのむずか

介護保険ありきのプランに疑問を感じていなかったことに気づきまし

今後の事例検討会・研修会予定

★ 第3回事例検討会

「自動車運転のためのリハビリテーション ～“車が足”丹後の高齢者の暮らしを支えよう～」

日時:平成26年10月27日(月) 13:30～16:30

会場:京都府丹後保健所講堂

★ 看護職・介護職ステップアップ研修

日時:平成26年11月30日(日) 時間調整中(午後開催予定)

会場:アグリセンター大宮

★ 第4回事例検討会(セラピスト対象) 日程調整中

★ お気軽サミットin丹後2015 平成27年3月予定

ミニ講座 前頭葉機能とは

第1回事例検討会講演より

前頭葉は運動・行動脳と言われ、後方脳で入力・処理された情報を適切な行動に変換する統合脳です。

前頭葉障害はシステムとして働くネットワークが長く、回復に時間がかかります。そのため、医学的リハビリ、特に適切な評価、直接刺激、行動療法、当事者本人が考えることが重要となります。



前頭葉

全脳の細胞の約30%を占めているヒトにおいて高度に発達している

背外側部

眼窩部
(下前頭回)内側部
(前部帯状回)運動野
運動連合野

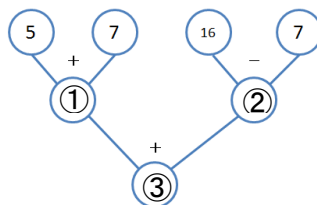
背外側部の機能

●作業記憶(ワーキング・メモリ)

認知課題の遂行中に必要な情報を一時的に保存/更新しながら同時に処理するシステム

●注意制御

注意の要素:



例) ①②の答えを保持しながら③の計算をする

注意の分割	複数の課題や認知的要求に同時に対応できる能力
転換性注意	精神的柔軟性、異なる認知的課題や行動間で注意の集中を移動できる能力
選択性注意	干渉刺激を無視する能力、特定の刺激に反応する能力
持続性注意	一定時間、あるいは繰り返してビジランス(覚醒)を保つ能力、一貫した行動反応を維持する
焦点性注意	特定の刺激に直接反応する能力(覚醒水準)、アラートネス(注意喚起、気づきの障害)

●実行(遂行)機能

遂行機能障害:

習慣的な行為は問題にならないが、新しい課題や新しい環境や状況では課題の遂行が困難になる

計画性が無く、場当たりの行動

段取りが悪く非効率な作業

状況の変化に対応できない 柔軟性がない・修正困難・機転が利かない

現前の出来事(刺激)に行動が左右される

●推論

内側部の機能

●葛藤(抑制)

認知的葛藤 ストループ

感情的葛藤 恐怖や嫌悪感

●心の理論

相手の気持ちを察し、思いやり、共感する、相手の思惑から行動を予測する能力

●社会的感情

他者に対する嫉妬・恥ずかしさ・誇り

気おくれ・羨望

●発動性・意欲・動機付け(アパシー)

発動性低下・意欲低下・無関心・無感動

●報酬と行動を結び付ける

(眼窩部と外側部の調整)

眼窩部の機能

●報酬に関わる意志決定・予測・価値判断

障害されると...

ハイリスク・ハイリターン

短絡的行動

不適切な判断・不利益となる行動

常識からかけ離れた判断

●社会的行動・道徳的判断・協力行動

障害されると...人格変化/障害

脱抑制・モラルの喪失・易怒性・衝動性

攻撃性・性的逸脱行為・窃盗・ギャンブル

不遜な態度・社会的失言・悪態をつく

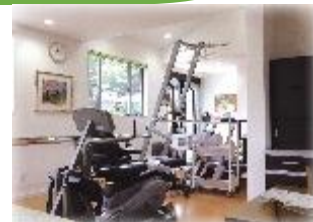
施設たずね歩き

丹後地域の施設を順に紹介します

今回はねもとリハビリテーション(株)をご紹介します。

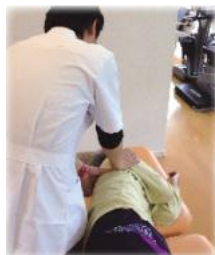
ねもリハは、ずっと元気に生活するための、憩いの場です。

ねもとリハビリテーションは今春より要介護1,2の方を対象としたリハ特化デイサービスを新たに開設されました。理学療法士も1名増員され2名体制となっています。吊り下げ式トレッドミルなどの最新機器も導入されています。

ねもリハの
特徴

- ①3か月毎の体力測定をし、得点化することで効果を実感
- ②超音波・低周波療法による痛み、筋・関節の治療
- ③専属理学療法士による、一人一人の体のケア

	時間・定員
リハ特化デイサービス 要介護1・2の方	午後のみ 1日10名まで
介護予防デイサービス 要支援1・2の方	午前・午後 1日24名まで
与謝野町二次予防事業 おたっしやクラブ終了者(*介護保険外)	午前のみ 1日10名まで



ねもリハ チェック

当てはまるものに☑を記入してみてください

- ☐ 退院後、個別リハビリする所を探している。
- ☐ リハビリできる、半日デイサービスを希望している。
- ☐ 風呂・食事は必要ない
- ☐ 期限なく、リハビリを続けたい。
- ☐ 最近転びやすくなった
- ☐ 腰・ヒザに持病がある
- ☐ 50代・60代で、脳梗塞の再発を防ぎたい。

1つでも当てはまったら、
ぜひご相談下さい！
個別見学は[要予約]で承ります。



住所：〒629-2411

京都府与謝野町字明石1262-1

連絡先：介護の方・二次予防：0772-42-7797

介護予防デイサービス：0772-42-7767

福祉用具紹介

Special

丹後福祉応援団

松本PT発案

レクで使える「リハビリ遊具」Ban!Ban! バルーン誕生



プカプカ浮いた風船をサークルの中央めがけてアタックする。叩かれた風船はフワリと浮き上がり前方へ。風船にぶら下がっているオモリの位置で得点を競いあう。チームで対戦すると大いに盛り上がります。白熱して、競技者の体はどんどん前のめりに。サロンでのゲームや老人ホームの運動会で使ってみてください。

* 先着2名様に試供品あり

「お試しセット希望」「連絡先」を明記の上、以下までメールをお願いします。

丹後福祉応援団 理学療法士 松本健史

電話：0772-44-1888 E-mail: matumomo@helen.ocn.ne.jp

想出を 共に語らい 元気よく